

語学研修終了報告書

報告年月日 2020 年 3 月 31 日

| | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 留学プログラム名 | TASTE 海外短期語学学習 |
| 所属学院等 (学院/類/学部/研究科) | 物質理工学院 |
| 所属系・コース等 (系・コース/学科/専攻) | 材料系 |
| 留学時の学年 | 学士 2 年 |
| 留学先国 | オーストラリア |
| 留学先大学 | クィーンズランド大学 |
| プログラム期間 | 2020 年 2 月 17 日 ~ 2020 年 3 月 20 日 |
| H P 掲 載 | この報告書は本学HPに留学体験談として掲載する可能性があります。 |

報告事項

① 留学先(参加プログラム/受入れ機関)の概略

クィーンズランド大学の機関の一つである Institute of Continuing & TESOL Education (以下 ICTE)では、様々な語学留学プログラムを用意しています。語学留学プログラムは、日常で使う英語を学ぶ General English(以下 GE), ビジネス向けの英語を学ぶ English for International Business Communication(以下 EIBC), 学術的なスキルを学ぶ English for Academic Purposes(以下 EAP)の 3 つに分かれていて、



写真 1: クィーンズランド大学の正門

EIBC, EAP の登録には IELTS や TOEFL iBT などの資格が必要になります。

プログラムは 5 週間を 1 セッションとし、プログラムの初日にはリスニング・ライティング・スピーキング・リーディングの 4 技能からなるクラス分けのテストが行われます。GE の場合はこのテストの点数に応じて 6 段階のレベルに分けられます。テストが終わるとクラスが確定し、テストの翌日から授業が始まります。授業は平日の 8:15~10:15, 10:45~12:45 の計 4 時間授業が行われます。午後の時間は自由時間で、ICTE や大学が様々なイベント・アクティビティを用意しています。セッションの最終週にはリスニング・ライティング・スピーキング・リーディングの 4 技能のテストがあります。ただし、今回の留学は新型コロナウイルスの影響もあり、4 週目の授業が終わった時点で授業が停止してしまいました。そのため、自分は最終週の授業およびテストを受けることなく終了し、成績

は 1～4 週目の出席率および授業中の 4 技能の評価から計算されました。

② 留学先での授業内容

ICTE での英語の授業は日本の英語の授業とは異なり、英語の 1 つの技能にとらわれないアクティビティが行われました。1 つ例を挙げると、「お金に関する単語を学ぶ→お金の相談に関するラジオを聞く→ラジオで聞いたアドバイスが良いかどうかをディスカッションする」といった感じです。授業もただ教科書を用いてノートに書き取るだけでなく、スマホのクイズアプリを使って単語の早押しクイズをしたり、VR で世界の都市を眺めながら英語で解説を聞いたりするなど、さまざまでした。

私は GE level5 のクラスに所属しました。私のクラスでは、始めは日本人が 12 名、台湾人・中国人・ペルー人・スペイン人が 1 名ずつ所属していましたが、中国人とスペイン人がクラスを変えたことによって、私のクラスだけ日本人が特に多くなっていました。日本人は休み時間になると日本語を話す場面が多く見られました。せっかく外国に来たので、私は教室外に出て他のクラスの外国人と話すなど、積極的に英語を話すようにしていました。私のクラスの担任は、ディスカッションをするときは Yes・No→理由だけで終わらずにさらに質問をするように呼び掛けたり、イベントのある日には早めに授業を切り上げて大学の人に話しかける課題を出してきいたりするなど、スピーキングに特に力を入れていました。

| CRIME DISCUSSION | | |
|------------------|---|---------------------|
| NAME | QUESTION | Answer + Extra Info |
| | Have you (or anyone you know) ever witnessed a serious crime? | |
| | How can governments reduce crime? | |
| | What kind of crime happens in your country? | |
| | Is organized crime a problem in your country? | |
| | Have you ever reported a crime to the police? | |
| | Have you (or anyone you know) ever been a victim of crime? | |
| | Are you afraid of becoming a victim of crime? | |
| | Does your government talk a lot about fighting crime? | |
| | What do you know about Internet crime? | |
| | Have you ever thought of fighting crime by becoming a police officer? | |
| | Do you have any crime safety tips? | |

写真 2：「犯罪」をテーマにした二人 1 組のディスカッションのプリント
ランダムに名前を選んで様々なクラスメイトに質問したり、
ただ質問するだけでなくさらに質問をして Extra Info を書くように指示している。

①で書いたように 5 週目の授業は停止となってしまいましたが、大学がオンライン授業の環境を整えてくれたおかげで、日本にいても先生やクラスメイトと会話することができました。

③ 留学先での課外活動

ICTE では様々なアクティビティを用意していて、好きなアクティビティを予約して参加することができます。

ICTE のアクティビティは大きく分けて、学習系と交流系の 2 つに分けられます。学習系のアクティ

ビティでは、英語の 4 技能に関するワークショップが開かれていて、英語の学習法について学ぶことができます。これに加えて、Vygo と呼ばれる英会話の相手を探すアプリや Learning Adviser による 1 対 1 の相談など、英語学習を支援する様々な制度が用意されていました。私はこの制度をすべて利用し、様々なアドバイスをいただきました。ワークショップでは、音声を聞こえた内容そのままにメモする方法や、英語を喋っているときの自分の声を録音して発音を確かめるなど、効果的な学習方法を教えてもらいました。Learning Adviser に自分が書いたエッセイを見てもらったときには、単語の言い換えを検索できるサイトを紹介してもらいました。

一方、交流系のイベントではコーラスやスポーツなど、英語で交流できるイベントが開かれています。ただし、参加者は日本人が大半を占めていたので、日本語で話してしまう人が多いようでした。そこで私は、イベントであった現地の学生に声をかけたり、誘われたイベントに積極的に参加したりしました。参加したイベントの中では、キリスト教サークルのメンバーの台湾人の学生から誘われた「Hope Church」が一番良いイベントでした。このイベントを通して宗教の新しい一面を見られただけでなく、出会った留学生とイベント後に一緒にボードゲームをしたり、夕食を食べに行ったりと、とても良い時間を過ごせるイベントでした。他にも、デザイン部の新歓パーティーに参加したり、E-Sports 部のゲーム大会に参加したりしました。

日本人は観光をしている人が多かったのですが、私は現地の学生に近い生活がしたかったので、頻繁に観光に出ることはありませんでした。その分、ホストファミリーの家事や買い物の手伝いなどをしたので、現地の生活に近づくことができましたと思います。

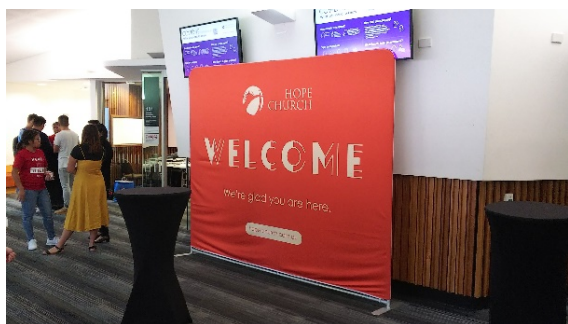


写真 3: キリスト教サークル内の定期イベント「Hope Church」



写真 4: イベント後にボードゲームをした時の写真

④ 留学から何を学び、それを今後どのように活かしたいか

今回の留学で特に大きかったのは、自分の英語の勉強方法を見直せたことと、現地の人に積極的に話しかける大切さを学んだことでした。

私は英語が得意ではあったものの、リスニングでは聞き落とすことがあり、スピーキングで言葉が見つからず、対応の仕方が変になってしまうことがしばしばありました。そのことについて先生や現地の学生、Learning Adviser に相談すると、効果的なアドバイスをもらうことができました。また、「『知る』ための単語の学び方と『使える』ための単語の学び方は違う」、「リーディング・リスニングは受動的な勉強、ライティング・スピーキングは能動的な勉強」というアドバイスをもらい、受動的な勉強ばかりだった自分の英語の学習方法を見直すきっかけを作ることができました。

一方私は、現地の人に積極的に話しかけるよう心掛けました。現地の人はとても親切で、リスニングやスピーキングの苦手な私にゆっくり説明してくれたり、分かりやすい単語に言い換えたりしてくれました。大学内ではオーストラリア以外の外国人との交流が多かったのですが、会話をしていくごとに自分とは異なる英語の発音や考え、文化、趣味などを学ぶことができました。はじめは緊張して英語を話すことをためらっていたのですが、慣れてくると遠慮せずに話しかけられるようになりました。積極的に話しかけることで、現地の学生やオーストラリアにいる人の生活や文化を知ることができただけでなく、友達がたくさんできたり、現地で開催しているイベントに参加したりすることができました。この体験を通して、将来の留学の雰囲気少し明確になったと感じています。

今回のプログラムで私の英語力が急激に上がったわけではないのですが、留学先で学んだこの2つの点をこの先の学校生活に生かしていきたいと思っています。現地で学んだ英語の勉強方法を続けながら、学校の英語のプログラムや将来の留学プログラムにも積極的に参加することで自分の英語力を磨いていき、さらに覚えた英語やトピックを留学生との会話に生かすことで、日本の留学生とも積極的に交流していきたいです。

⑤ 留学前の準備

今回の留学は特に混乱の多い時期でした。留学前は留学情報館経由でオーストラリアの山火事の状態について連絡してもらい、山火事のマップの Web サイトを紹介してもらうなど、山火事の被害の状態を知ることができました。また、新型コロナウイルスでオーストラリアが外出や出国の規制を発表していた時には、外務省のサービス「旅レジ」が役に立ちました。「旅レジ」は海外のニュースの要旨を日本語訳してくれるので、規制の状況を素早く判断して行動することができました。

航空券は Skyscanner という航空券検索サイトを用いて探し、カンタス航空のサイトから直接予約しました。私の予約したプランでは「フレックス」と呼ばれるプランが含まれていました。これは、前日までに飛行日程が変更・キャンセルになった場合に手数料がかからないプランで、最終週で出発の日程を早める際に役に立ちました。

ビザは Electronic Travel Authority(ETA)というサイトから Tourist Visa を修得しました。Student Visa と比べて保険等に参加できないのが欠点ですが、手続きの早さとビザの値段の安さを考慮するとこの方法が一番いいと思います。

私はスピーキングを強化したかったので、図書館で『英会話 1000 本ノック 本番直前編』という本を借りて、海外で使用する会話パターンを事前に練習しました。この本は会話パターンを学ぶだけでなく、制限時間内にしゃべらなければいけない状況を作ることができたので、自然な対応に近い状況で会話を学ぶ事ができました。このプログラムで留学生と交流したい人は、積極的に上のレベルを狙いましょう。そのためにも、事前に英語の学習をしておくことをおすすめします。

⑥ 留学費用

以下の表は、オーストラリア渡航時に支払った費用の内訳です。オーストラリアドル表記で表されていた部分は、\$1=¥80 としました。正確には新型コロナウイルスの影響でドルの価値が 15 円近く下がっているのですが、予算を立てるときはこの計算で考えたほうがいいと思います。

| 出費内容 | 価格(日本円) [円] |
|-------------------------|-------------|
| 渡航前 | |
| 入会・教育費 | 193,600 |
| ホームステイ(プレースメント・住居費) | 116,000 |
| 空港の送迎サービス(任意・行きのみ) | 8,800 |
| 航空券(往復ともに成田-ブリスベン間の直行便) | 189,780 |
| Tourist Visa 発行 | 1,600 |
| 海外保険料 | 15,930 |
| 渡航中 | |
| 食費 | 24,246 |
| 交通費 | 16,800 |
| 観光・イベント参加費 | 6,297 |
| 生活費(土産代含む) | 15,326 |
| 奨学金 | -70,000 |
| 合計 | 518,379 |

私は安全性を選んで東京からブリスベンの直行便を選びましたが、ケアンズ経由などの経由便を用いるともう少し安い航空券が購入できます。現金は 5 万円分を用意しましたが、ほとんどの支払いがクレジットカードだったので、あまり使うことはありませんでした。ただし、サークルのイベントに参加するときや夕食代を友人に払ってもらったときには現金が必要となるので、3 万円程度持っていくことをおすすめします。私は大きな旅行をしなかったため合計費用が安くなっていますが、ツアーに参加したり、他の都市に旅行に行ったりすると、もう少しお金がかかります。1 カ月の滞在であれば、旅行費用はだいたい 5~10 万円用意すれば十分だと思います。

奨学金を受け取る場合、月に 7 万円が支給されます。このプログラムでは 2 カ月分の 14 万円が支給されるはずでしたが、新型コロナウイルスの影響で授業が停止したため、1 カ月分の奨学金が支給されました。

⑦ 留学先での住居

私はホームステイを選び、大学にホストファミリーを選んでもらいました。参加するときのフォームで自分の好みを選ぶと、大学がその好みに合うようにホームステイ先を選んでくれます。プログラムの 1 カ月前にホームステイ先が決まってから、ホストファミリーにメールで家でのルール(洗濯の方法、門限など)について質問しました。メールで質問しておく、ホストファミリーとコミュニケーションが取れるだけでなく、英語の練習や家でのルールのメモ書きとして役に立つので、英語を話すことが苦手な人に特におすすめです。ホストファミリーは一人暮らしの女性になり、ルームメイトは特にはいませんでした。

⑧ 留学先で困ったこと(もしあれば)

一番困ったのは携帯の SIM カードです。私は旅行の初日に SIM カードを購入したのですが、うま

く機能せず、1 週間電話や Wi-fi の範囲外でのインターネットの使用ができませんでした。クラスメイトの中には日本で事前に SIM カードを購入した人がいたので、そうすればよかったと思っています。また、オーストラリアのバスは日本のように「次は、〇〇」というアナウンスが無いので、最初にバスに乗った時は乗り過ごさないかどうかすごく不安でした。外国の交通機関は事前にネットで調べられるので、渡航前に確認しておくといいです。

⑨ 留学を希望する後輩へアドバイス

『ICTE のクラスはお金がかかるが、母国語は無料で話すことができる』

これは、プログラムのオリエンテーションで主催者が生徒に向けて話した言葉です。このプログラムは日本人が多いため、日本語で交流することも可能です（実際私も、日本人と交流するときは少し日本語を使っていました）。しかし、ただ観光にきて日本語を喋っていたのでは明らかにお金ももったいないです。お金を払ってわざわざオーストラリアに来ているので、留学中は、積極的に英語を話しましょう。私の場合、休み時間に他のクラスの外国人と会話したり、現地の学生と交流できるイベントに参加したり、さらには現地の人にインタビューを実践したりしていました。

これを聞いて、「そこまでは必要ある？」と思う人もいるかもしれません。確かに、日本人にとって外国人と英語を話すのは難しく、勇気がいることかもしれません。でも、英語を話して得られた意見や話、英語が伝わらないという失敗は、終わってみれば全ていい経験です。同じ TASTE のプログラムや超短期派遣留学プログラムの中では 5 週間は長い方ですが、留学としてはかなり短い方です。その短い滞在時間の中で恥をかいたって、何のデメリットもないです（むしろ、メリットしかありません）。将来英語を話せるようになりたいと思ったら、ぜひこの留学に参加してみてください。そして、英語を母国語とする人たち、留学生たちに積極的に話しかけてください。積極的に話しかけて得られた経験は、きっとあなたにとって大切な思い出となるはずです。

(参考 URL)

(Skyscanner)

<https://www.skyscanner.jp/flights-to/au/cheap-flights-to-australia.html>

オーストラリア行きの航空券の値段を、様々な旅行会社・航空会社から比較して表示してくれるサイトです。

(Electronic Travel Authority)

<https://www.eta.homeaffairs.gov.au/ETAS3/etas?locale=ja&submit=cancel>

日本のパスポートがあれば、電子版の Tourist Visa をこのサイトから発行することができます。価格は\$20 で、大使館に行くなどの手続きが必要ないです。

(『英会話 1000 本ノック 本番直前編』)

<https://www.amazon.co.jp/%E8%8B%B1%E4%BC%9A%E8%A9%B11000%E6%9C%AC%E3%83%8E%E3%83%83%E3%82%AF%E3%80%90%E6%9C%AC%E7%95%AA%E7%9B%B4%E5%89%8D%E7%B7%A8%E3%80%91-%E3%82%B9%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%96%E3%83%BB%E3%82%BD%E3%83%AC%E3%82%A4%E3%82%B7%E3%82%A3-ebook/dp/B07F1PXG54>

私が渡航前に英会話の練習として使った本です。この本では会話が止まる時間が8秒程度と短く、スムーズな会話をする練習になります。大学の図書館でCDを含めて借りることができます。
(オーストラリアに移住したパパのブログ・オーストラリアのSIMカード11社比較(2020/01/23更新))

https://papainaus.com/aus_phone/

オーストラリアでSIMカードを購入する際に参考にしたサイトです。一般の人が書いたブログなのですが、大手企業のものから格安会社のものまで幅広く説明が書いてあります。

(Translink・各公共交通機関のマップ(英語))

<https://translink.com.au/plan-your-journey/maps>

オーストラリア・クイーンズランド州の公共交通機関は全てこのサイトから検索できます。先ほど書いた通り、オーストラリアの交通機関は駅が分からないことがあるので、ホームステイ先が分かったら自分の使う駅・バス停がどこにあるかを事前に把握しておくことをおすすめします。(ちなみに私のホームステイ先の最寄りのバス停はこの地図に書いてありませんでした)